

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	慈恵歯科医療ファッション専門学校
設置者名	学校法人 さくら学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
服飾・家政専門	ファッションベーシック学科	夜・通信	270 時間	160 時間	
	ファッションテクニカル学科	夜・通信	180 時間	160 時間	
商業実務専門	医療事務学科	夜・通信	210 時間	160 時間	
医療専門	歯科衛生士学科	夜・通信	240 時間	240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

刊行物を本校事務室において保管し、必要に応じて閲覧できるよう準備している。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	慈恵歯科医療ファッション専門学校
設置者名	学校法人 さくら学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

刊行物を本校事務室において保管し、必要に応じて閲覧できるよう準備している。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 監査役	2018. 6. 1 ~ 2022. 5. 31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	高等専修学校 教員	2018. 6. 1 ~ 2022. 5. 31	学校運営計画の策 定、管理機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	慈恵歯科医療ファッション専門学校
設置者名	学校法人 さくら学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画書(シラバス)の作成については、前年度に講師に作成依頼をし、3月初めの提出依頼をしている。4月初めに学生に「学習大要」として配布している。 ・ 授業計画書(シラバス)の対外的な公表については、本年度7月までに刊行物により、公表を予定している。 	
授業計画書の公表方法	刊行物を本校事務室において保管し、必要に応じて閲覧できるよう準備している。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単位授与又は履修認定は厳格かつ適正に行うために、成績会議資料を作成し、単位認定会議で審議し、進級認定を行っている。 ・ 定期試験で、6割以上の成績を取れなかった学生については、追試験を1回のみ実施し、7割以上取れた学生については修得を認定している。 ・ 不認定科目を3科目以上もつ学生については、原級留置を伝え、2科目までの不認定科目をもつ学生については、仮進級として、次年度に再度試験を受けさせて、6割以上の得点を取らせて、認定している。 ・ 出席時数については、授業時数の2/3以上の出席を条件としている。 ・ 提出すべきレポートについては、必ず提出していることを条件としている。 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学科では、定期試験の結果・レポートの提出・平常点等に基づき、科目ごとの100点満点での得点を出し、総合得点の平均を出して、順位を付けている。 総合得点の平均点で、学科ごとに「成績の分布状況」を把握・確認している。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>刊行物を本校事務室において保管し、必要に応じて閲覧できるよう準備している。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ファッション学科・医療事務学科・歯科衛生士学科は、専門的かつ高度な知識・技術・態度の習得教育を行っている。合わせて礼儀を重んじ、心豊かな人間性を育み、勤労を貴び、社会に出て役立つ有能な人材となる学生を育成している。</p> <p>本校を卒業するには、以下の要件を満たした者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学則に示す科目については、すべての単位修得をしていること。 ② 卒業認定試験に合格していること(総合得点の6割以上を合格とする)。 ③ 学費の納付等、学生としての義務を履行していること。 ④ 卒業認定は卒業認定会議を経て学校長が行う。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>刊行物を本校事務室において保管し、必要に応じて閲覧できるよう準備している。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	慈恵歯科医療ファッション専門学校
設置者名	学校法人 さくら学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	「令和2年度決算書」として纏め、刊行物を事務室に備え、公表する。
収支計算書又は損益計算書	「令和2年度決算書」として纏め、刊行物を事務室に備え、公表する。
財産目録	「令和2年度決算書」として纏め、刊行物を事務室に備え、公表する。
事業報告書	「令和2年度決算書」として纏め、刊行物を事務室に備え、公表する。
監事による監査報告（書）	「令和2年度決算書」として纏め、刊行物を事務室に備え、公表する。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

〈ファッションベーシック学科〉

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
		服飾・家政専門	ファッションベーシック学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860 単位時間	810 時間	1,050 時間	時間	時間	時間
			1,860 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		30人	16人	1人	4人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学則に基づき、各科目の時間数を決定し、授業方法及び内容については、各担当教員に連絡・相談を行い、年間の授業計画を作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学習評価の基準は、AA（100～90点）、A（89～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（60点未満）とし、Dは不合格としている。定期試験で60点未満の学生は、追試験を1回行い、70点以上取ればC評価になる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 成績評価で、不合格科目が2科目以内の者は、進級認定委員会で進級を認定する。不合格科目をもつ者は、次年度再度試験を受け、60点以上ならば合格認定する。卒業認定は学則に示すすべての科目の単位修得と卒業認定試験合格、学費の納付等を要件としている。

学修支援等
(概要) 学習不振者には、個別指導を行い、学習支援を行っている。経済面では入試方法による入学金免除制度、岩瀬めぐり奨学金制度、一人暮らしサポート制度、ひとり親家庭支援制度、同窓生優待制度、成績優秀者免除制度などを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	1人 (33%)	2人 (67%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ファッションベーシック学科の卒業生3名で、ネイル関係企業に1名就職し、ファッションテクニカル学科に1名進学している。1名は家事従事である。			
(就職指導内容) 学校に送付された求人票に基づき、就職先を決定している。ハローワークに訪問し、求人情報を把握している。社労士の方から説明を受ける機会を作っている。求人票から就職条件を確認し、訪問、面接、試験等で内定をいただき、就職している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) ファッションベーシック学科は、パターンメイキング検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定等を取得している。			
(備考)（任意記載事項） 特になし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	2人	10.5%
(中途退学の主な理由) ・進路変更が1名、健康不安1名が理由である。		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・個別懇談の機会を多くつくり、適応指導を行っている。欠席が多い学生への面接、成績不振の学生に対する指導も行い、追試験への対応指導も行っている。		

〈ファッションテクニカル学科〉

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
	服飾・家政専門	ファッションテクニカル学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,680 単位時間	720 時間	960 時間	時間	時間	時間
			1,680 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	

20人	2人	0人	1人	4人	5人
-----	----	----	----	----	----

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）					
<p>（概要）</p> <p>学則に基づき、各科目の時間数を決定し、授業方法及び内容については、各担当教員に連絡・相談を行い、年間の授業計画を作成している。</p>					
成績評価の基準・方法					
<p>（概要）</p> <p>学習評価の基準は、AA（100～90点）、A（89～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（60点未満）とし、Dは不合格としている。定期試験で60点未満の学生は、追試験を1回を行い、70点以上取ればC評価になる。</p>					
卒業・進級の認定基準					
<p>（概要）</p> <p>成績評価で、不合格科目が2科目以内の者は、進級認定委員会で進級を認定する。不合格科目をもつ者は、次年度再度試験を受け、60点以上ならば合格認定する。卒業認定は学則に示すすべての科目の単位修得と卒業認定試験合格、学費の納付等を要件としている。</p>					
学修支援等					
<p>（概要）</p> <p>学習不振者には、個別指導を行い、学習支援を行っている。経済面では入試方法による入学金免除制度、岩瀬めぐり奨学金制度、一人暮らしサポート制度、ひとり親家庭支援制度、同窓生優待制度、成績優秀者免除制度などを行っている。</p>					

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>ファッションテクニカル学科では、1年修了後、縫製関係企業に1名が就職している。</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>学校に送付された求人票に基づき、就職先を決定している。ハローワークに訪問し、求人情報を把握している。社労士の方から説明を受ける機会を作っている。求人票から就職条件を確認し、訪問、面接、試験等で内定をいただき、就職している。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>ファッションテクニカル学科は、パターンメイキング検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定等を取得している。</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p> <p>特になし</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	1人	50.0%

(中途退学の主な理由)
・ネイル関係企業に就職は内定していたが、健康面で不安定となり、内定を辞退し、退学となった。
(中退防止・中退者支援のための取組)
・個別懇談の機会を多くつくり、適応指導を行っている。欠席が多い学生への面接、成績不振の学生に対する指導も行い、追試験への対応指導も行っている。

〈医療事務学科〉

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
		商業実務専門	医療事務学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,750 単位時間	690 時間	420 時間	640 時間	時間	時間
			1,750 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		23人	0人	2人	14人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 学則に基づき、各科目の時間数を決定し、授業方法及び内容については、各担当教員に連絡・相談を行い、年間の授業計画を作成している。
成績評価の基準・方法
(概要) 学習評価の基準は、AA（100～90点）、A（89～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（60点未満）とし、Dは不合格としている。定期試験で60点未満の学生は、追試験を1回行い、70点以上取ればC評価になる。
卒業・進級の認定基準
(概要) 成績評価で、不合格科目が2科目以内の者は、進級認定委員会で進級を認定する。不合格科目をもつ者は、次年度再度試験を受け、60点以上ならば合格認定する。卒業認定は学則に示すすべての科目の単位修得と卒業認定試験合格、学費の納付等を要件としている。
学修支援等
(概要) 学習不振者には、個別指導を行い、学習支援を行っている。経済面では入試方法による入学金免除制度、岩瀬めぐり奨学金制度、一人暮らしサポート制度、ひとり親家庭支援制度、同窓生優待制度、成績優秀者免除制度などを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	7人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等) 医療事務学科は、全員7名が診療所に就職している。
(就職指導内容) 学校に送付された求人票に基づき、就職先を決定している。ハローワークに訪問し、求人情報を把握している。社労士の方から説明を受ける機会を作っている。求人票から就職条件を確認し、訪問、面接、試験等で内定をいただき、就職している。
(主な学修成果(資格・検定等)) 医療事務学科は、医療秘書技能検定、医科医療事務検定、診療報酬請求事務能力認定試験、介護職員初任者研修等を取得している。
(備考)(任意記載事項) 特になし

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由) ・特になし		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・個別懇談の機会を多くつくり、適応指導を行っている。欠席が多い学生への面接、成績不振の学生に対する指導も行い、追試験への対応指導も行っている。		

〈歯科衛生士学科〉

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
		医療専門課程	歯科衛生士学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,120 単位時間	960 時間	1,260 時間	900 時間	時間	時間
			3,120 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105人		92人	0人	6人	47人	53人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 学則に基づき、各科目の時間数を決定し、授業方法及び内容については、各担当教員に連絡・相談を行い、年間の授業計画を作成している。
成績評価の基準・方法
(概要) 学習評価の基準は、AA(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(60点未満)とし、Dは不合格としている。定期試験で60点未満の学生は、追試験を1回行い、70点以上取ればC評価になる。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>成績評価で、不合格科目が2科目以内の者は、進級認定委員会で進級を認定する。不合格科目をもつ者は、次年度再度試験を受け、60点以上ならば合格認定する。卒業認定は学則に示すすべての科目の単位修得と卒業認定試験合格、学費の納付等を要件としている。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>学習不振者には、個別指導を行い、学習支援を行っている。経済面では入試方法による入学金免除制度、岩瀬めぐり奨学金制度、一人暮らしサポート制度、ひとり親家庭支援制度、同窓生優待制度、成績優秀者免除制度などを行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	0人 (0%)	21人 (100%)	0人 (0%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>歯科衛生士学科卒業生は、歯科医院に21名全員が就職している。</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>学校に送付された求人票に基づき、就職先を決定している。ハローワークに訪問し、求人情報を把握している。社労士の方から説明を受ける機会を作っている。求人票から就職条件を確認し、訪問、面接、試験等で内定をいただき、就職している。</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>歯科衛生士学科は、介護福祉士実務者研修を取得し、歯科衛生士国家資格を全員取得している。</p>			
<p>(備考)（任意記載事項）</p> <p>特になし</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
82人	6人	7.3%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>・成績不振が2人、学校生活・学業不適合が2人、病気が1人、経済的な理由1名7名である。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>・個別懇談の機会を多くつくり、適応指導を行っている。欠席が多い学生への面接、成績不振の学生に対する指導も行い、追試験への対応指導も行っている。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
歯科衛生士学科	200,000 円	540,000 円	320,000 円	
医療事務学科	150,000 円	582,000 円	250,000 円	
ファッションベ シク学科	150,000 円	500,000 円	90,000 円	
ファッションテク ニカル学科	0 円	500,000 円	90,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
入学金免除制度利用者 52 人、ひとり暮らしサポート制度利用者 14 人、ひとり親家庭支援制度利用者 10 人、あぐり奨学金制度利用者 1 人、成績優秀者制度利用者 1 人である。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> ・主な評価項目:教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受け入れ募集、財務、法令等の遵守 ・評価委員の構成:定数5名以上(卒業生、地域住民、企業関係者、高等学校関係者) ・評価結果の活用方法:次年度の計画策定等に生かしていく。 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
繊維総合卸株式会社取締役	4 年	企業代表
高等学校 教員	4 年	高等学校関係者
歯科医院院長	4 年	歯科医師会代表者
社会人	4 年	卒業生代表
社会人	4 年	地域住民代表
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL : http://sakura-g.ac.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		
特になし		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://jikei.sakura-g.ac.jp
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	慈恵歯科医療ファッション専門学校
設置者名	学校法人 さくら学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		-人	-人	11人
内 訳	第Ⅰ区分	-人	-人	
	第Ⅱ区分	0人	-人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				11人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	一人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	一人	人	人

(備考)

警告を受けた学生には、保護者・本人に来校いただき、校長・学科長・担任から、警告となっていることを説明し、講義等への取組方法の改善を促す指導を行った。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

—